

『いままでに見たことのない新しい車両』 新型特急車両「Laview」2019年3月デビュー！

- 車両形式は「001系」、愛称は「Laview（ラビュー）」に決定！
- ビジネス、観光型の特急電車として、池袋線・西武秩父線で運行！

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：若林 久）では、建築家・妹島和世氏監修のもと、現在運行している10000系「ニューレッドアロー」から25年ぶりに登場する新型特急車両を開発してまいりましたが、今般、2018年度製作車両が完成しましたのでお知らせします。

完成した新型特急車両は、外観・内観ともに「いままでに見たことのない新しい車両」が形となり、これからの西武鉄道の未来を担う新たなフラッグシップトレインとして2019年3月にデビューします。また、車両形式は「001系」、愛称は「Laview（ラビュー）」に決定しました。

第一編成は各種試験等を経て池袋線・西武秩父線にて、ビジネス・観光型の特急電車として営業運転します。

詳細は、別紙の通りです。

Laview

「Laview」ロゴマーク



車両外観

【別紙】

1. 車両形式「001系」に込めた思い

西武鉄道の次世代のフラッグシップトレインとして、「いままでに見たことのない新しい車両」であること、「次の100年に向けた出発点である車両」であることを表現するため、100年を逆から表し「001」表記とし、「00」には「∞（無限）」の可能性の意味も込め「001系」としました。

※英語表記は「001_series(ダブルオーワンシリーズ)」となります。

2. 愛称「Laview（ラビュー）」に込めた思い

「L」 贅沢（Luxury）なりビング（Living）のような空間

「a」 矢（arrow）のような速達性

「v i e w」 大きな窓から移りゆく眺望（view）

都市や自然の中でやわらかく風景に溶け込む特急として、多くのお客さまに特急電車での旅を楽しんでいただきたいという思いが込められています。

3. エクステリア

先頭形状は球面形状とし、前面ガラスには曲線半径が1500mm（国内初）の、三次元の曲面ガラスを採用。客室窓は等間隔で縦1350mm×横1580mmにもなる大型窓ガラスを配置し、沿線の景色を大パノラマでお楽しみいただけます。また、車体カラーは、アルミ素材の車体に塗装を施し、都市や自然の中でやわらかく風景に溶け込むデザインを実現しました。



いままでになかった曲面ガラス



大型客室窓

4. インテリア

【客室・車内設備】

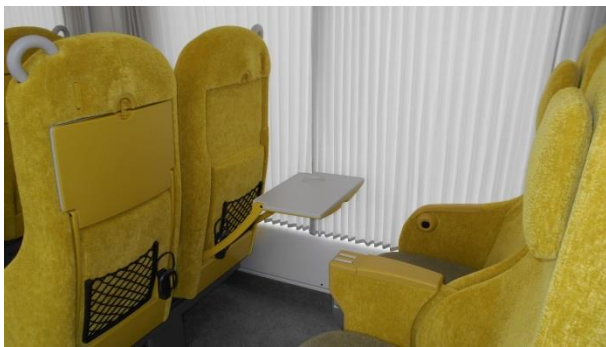
座席にはお客さまの背丈サイズに合わせて調節できる手動式可動枕を設置しました。また、各座席には「電源コンセント（AC100V）」を設置するとともに、従来の大型「背面テーブル」と、向かい合わせに座席を転換しても使用できる「インアームテーブル」も設置しました。今まで以上に、ビジネスシーンにも、秩父などへのグループ観光にも適した機能面のバリューアップを目指しました。また、各車両には「SEIBU FREE Wi-Fi」を導入したほか、23インチの大型車内ビジョン（当社初）を設置しました。停車駅のご案内や、ニュース・天気予報（予定）、一部の区間では車載カメラによる走行中の前方映像などをお楽しみいただけるなど、ご利用いただくお客さま一人ひとりが快適にお過ごしいただける設備を用意しました。



客室座席



電源コンセント



背面テーブル



インアームテーブル



23 インチの大型車内ビジョン



SEIBU FREE Wi-Fi

【エントランス・サニタリ】

エントランス床材には、人造大理石（当社初）を採用し、あたたかみと安心感のある空間に上品さも演出しました。サニタリにおいても当社初となる女性専用トイレや、パウダールームを5号車に設け、拡大鏡やチェンジングボード、おむつ交換シートを設置するなど幅広いニーズに応えられるよう設計しました。



多目的トイレ



パウダールーム

5. 車両の概要

製作車両数	8両×7編成 56両 (2018年度16両、2019年度40両)
乗車定員	422席 (全席指定)
製作会社	株式会社日立製作所
安心設備	防犯カメラ (各エントランス乗降口上部に配置) / AED
快適性	車体動揺防止装置 (当社初)
バリアフリー	車いすスペース / オストメイト機能付多目的トイレ

6. デザイナー

基本デザイン監修は建築家・妹島和世氏に、更に座席シートや床面などのテキスタイルはデザイナーの安東陽子氏と、天井照明をはじめとする車内の照明デザインは照明家の豊久将三氏とタッグを組み、デザインコーディネーションとグラフィックデザインは建築家の棚瀬純孝氏が担当し、いままでにないデザインとなりました。

○建築家：妹島 和世氏 (基本デザイン監修)



Photo: Aiko Suzuki

日本女子大学大学院を修了。1987年妹島和世建築設計事務所設立。1995年西沢立衛とともにSANAAを設立。2010年第12回ベネチアビエンナーレ国際建築展の総合ディレクターを務める。主な受賞として日本建築学会賞*、ベネチアビエンナーレ国際建築展金獅子賞*(イタリア)、プリツカー賞*(アメリカ)、芸術文化勲章オフィシエ(フランス)、紫綬褒章など。現在、横浜国立大学大学院Y-GSA教授、ミラノ工科大学教授、ウィーン国立応用芸術大学教授、日本女子大学客員教授。(*はSANAAとして)



Photo: Atsushi Nakamichi

○テキスタイルデザイナー・コーディネーター：安東 陽子氏

株式会社「布」でのクリエイティブスタッフを経て、2011年個人事務所「安東陽子デザイン」設立。多くの建築家の設計する公共施設や個人住宅などにテキスタイルを提供。

近年は「すみだ北斎美術館」（妹島和世氏設計）、「ぎふメディアコスモス」、「台中国家歌劇院」（いずれも伊東豊雄氏設計）、「太田市美術館・図書館」（平田晃久氏設計）などの建築にテキスタイルを提供した。

○照明家：豊久 将三氏

最新のテクノロジーを使った光の設計を主に行う。ニューヨーク近代美術館「Contemporary Japanese Textiles」展における光ファイバーを使用した照明で世界的な評価を得る。

東京国立博物館、原美術館、三菱一号館美術館など国内外の美術館の展示照明やアートコレクターの自邸の光の設計を主に、Dior表参道、GUCCI銀座などのファサード照明、ミキモト4丁目本店の店舗照明など、幅広い光の表現活動を行っている。



○建築家：棚瀬 純孝氏

(デザインコーディネーション・グラフィックデザイン担当)

京都工芸繊維大学を修了。1995年より妹島和世建築設計事務所・SANAA 事務所所属。2013年よりSANAA 事務所パートナー。「ルーブル=ランス」（フランス・ランス）、「飯田市小笠原資料館」（長野）、「ラ・サマリテーヌ」（フランス・パリ）等、国内外の様々なプロジェクトに関わる。



7. 運行の概要

2018～2019年度にかけて順次、池袋線・西武秩父線で運行中の10000系「ニューレッドアロー」を001系「Laview（ラビュー）」に置き換えて、ちちぶ号・むさし号として運行します。

- (1) 運行開始時期 2019年3月（予定）
- (2) 運行区間 池袋線・西武秩父線 池袋～西武秩父駅間
- (3) 停車駅
ちちぶ号：池袋・所沢・入間市・飯能・横瀬・西武秩父
むさし号：池袋・所沢・入間市・飯能
※停車駅は現在のちちぶ号・むさし号と同様です。
- (4) 特急料金 (大人) 300～700円 (小児) 150～350円
※特急料金・特急券発売場所は現在のレッドアロー号と同様です。

※運行開始日・運転時刻等の詳細については、決定次第お知らせいたします。

8. その他

001系「Laview（ラビュー）」に関する情報を特設Webサイトでご覧いただけます。今後予定しているイベントなどはこちらでもお知らせします。

<https://www.seiburailway.jp/railways/laview/>

※特設Webサイトは、2018年11月13日（火）10:00頃開設予定です。

◇参考

- 2016年3月14日発行ニュースリリース
2018年度、新型特急車両が走り出します！
<https://www.seiburailway.jp/railways/20160314shingatatokkyu.pdf>
- 2017年6月13日発行ニュースリリース
新型特急車両の基本デザインが決定しました！
https://www.seiburailway.jp/news/news-release/2017/20170613_shingatatokkyuu_2.pdf

◇お客さまのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター TEL. (04)2996-2888

音声ガイダンスのご案内により、メニューをお選びください。

[営業時間：平日9時～19時 土休日9時～17時]